

我が国周辺水域資源評価等推進委託事業

資源動向調査（ムロアジ類）

和田隆史・吉見圭一郎

資源動向調査のうち、ムロアジ類については和歌山県と共同で調査を実施し、本県については漁獲量調査及び魚体測定調査を実施し、データ収集に努めた。なお、本県で漁獲されるムロアジ類のほとんどがマルアジであり、マルアジを対象に調査を行った。

1. 漁法別漁獲量集計

次の内容で漁獲量を集計した。

(1) 中型まき網

紀伊水道外域における中型まき網1統の漁獲成績報告書を整理した。

(2) 定置網

紀伊水道外域西部における次の漁協の定置網漁獲量を整理した。

鞆浦漁協：大型定置網1統

穴喰漁協：小型定置網全統

2. 生物測定調査

(1) 体長測定調査

原則月1回、穴喰漁協の小型定置網で漁獲されたマルアジの体長（尾叉長）をパンチングにより測定した。

(2) 魚体精密測定調査

原則月1回、穴喰漁協の小型定置網で漁獲されたマルアジの体長（尾叉長）、体重、性及び生殖腺重量を測定した。

3. 調査結果

(1) 漁獲量

徳島県における2012年の中型まき網漁獲量は116トンで、前年の41%、過去5（2007～2011年）年平均値（以下「過去5年平均」）の37%であった（図1）。2012年の紀伊水道外域西部の鞆浦及び穴喰漁協における定置網漁獲量は14トンで、前年の55%、過去5年平均の98%であった（図2）。図1及び2により過去2年の漁獲量と比較すると、中型まき網及び定置網とも減少傾向にある。

(2) 生物測定結果

2012年度は、2012年5月、10～12月及び2013年1～3月の計7回体長測定を行った。結果は図3に示した。紀伊水道外域西部の小型定置網で漁獲されるマルアジは秋に尾叉長12cm程度にモードを持つ小型の当歳魚が主体で漁獲

され始める。その後徐々に大きくなり、春まで同一年級群が主体で漁獲されるものと考えられた。

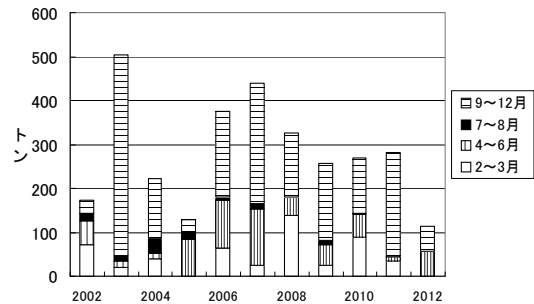


図1. 紀伊水道外域中型まき網のマルアジ漁獲量

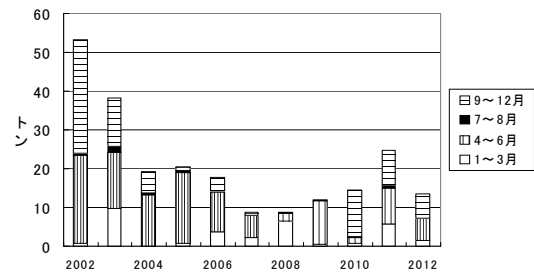


図2. 紀伊水道外域定置網のマルアジ漁獲量（鞆浦大型定置網と穴喰小型定置網の漁獲量合計）

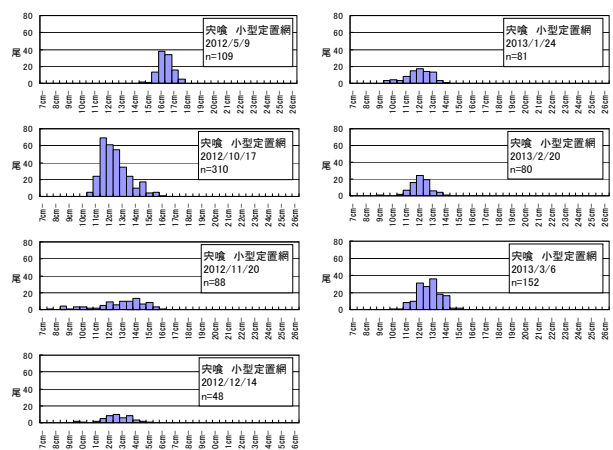


図3. 穴喰小型定置網のマルアジ尾叉長組成